

あいハート須磨  
中期経営計画(2020年度～2022年度)

中期経営計画(2020年度～2022年度)の構成

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(1) 情報発信ツールのリニューアル

- ① ホームページ
- ② パンフレット

(2) 「地域における公益的な取組」状況の発信

2. 安心して信頼されるサービスの提供

(1) サービス向上の取り組み

① 人材育成

- ①-1 ノーリフトケアコーディネーター(ベーシック)
- ①-2 認知症ケア関連資格
- ①-3 介護福祉士資格取得
- ①-4 主任ケアマネ

- ①-5 喀痰吸引研修
- ①-6 接遇関連研修
- ①-7 EPA介護福祉士候補生
- ①-8 キャリア段位制度

- ② ノーリフトケアの導入・定着化
- ③ 部門別重点施策の推進

(2) 防災・防犯対策

- ① 防災対策の充実
- ② 防犯対策の充実

3. 安定的で継続性を持った経営

(1) 財務状況の健全化

- ① 特養
- ② 須磨デイサービス
  - ②-1 通常規模最大化
  - ②-2 職員構成の適正化

(2) 人材確保

- ① 腰痛予防対策の展開
- ② 新人事考課制度の運用
- ③ 新賃金制度の検討と運用
- ④ 夜勤業務の負担軽減策の推進

(3) 特養・ショート部門のマネジメント・運営体制の見直し

(4) 新規事業

- ① 脳梗塞リハ
- ② 新規事業の検討

(5) 計画的な改修工事の実施

- ① 増床工事に合わせた改修工事
- ② 計画的な設備更改

(6) あいハート須磨ユニオンとの連携強化

- ① 経営状況の共有
- ② 労働環境の改善

4. 地域交流の推進

(1) ボランティアの受入推進

(2) イベント等の実施

(3) 自治会支援

(4) 「地域における公益的な取組」の推進

- ① 「地域サポート施設」としての事業内容の検討
- ② 総合相談事業の立上げ

## 1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(利用者、家族、地域住民の要望に応える運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。)

### (1) 情報発信ツールのリニューアル

・職員情報の使用に関するルールを整理します。

#### ① ホームページ

・現行ホームページで使用している写真のリニューアルを行います。  
・スマホサイトを作成して情報発信機能の強化を図ります。

#### ② パンフレット

・現行パンフレットで使用している写真のリニューアルを行います。

### (2) 「地域における公益的な取組」状況の発信

「地域サポート施設」としての事業内容の検討や総合相談事業の実績に関する進捗状況を「愛&ハート」を通じて発信します。

2020年度	2021年度	2022年度
<p><b>情報発信ツールのリニューアル</b></p> <p>■ 職員情報ルールの整理</p> <p>・ホームページ写真のリニューアル ・スマホサイトの作成</p>	<p>・パンフレット写真のリニューアル</p>	
<p><b>地域における公益的な取組</b></p> <p>・「地域サポート施設」としての事業内容の検討</p>		<p>・「地域サポート施設」事業の立上げ</p>
<p>・ルールの整備</p> <p>相談対応(実績の蓄積)</p> <p>■ 実績の共有</p>	<p>■ 実績の共有</p>	<p>■ 実績の共有</p>

## 2. 安心で信頼されるサービスの提供

(安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。)

### (1) サービス向上の取り組み

#### ① 人材育成

・育成計画に基づき、各種資格取得や外部研修の受講を推進します。

#### ①-1 ノーリフトケアコーディネーター(ベーシック)

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
特養	受講計画	-	2	2	2
	累計	2	6	8	10
須磨デイ	受講計画	-	2	1	1
	累計	2	4	5	6

2019年度受講済職員

特養: 原田、荻野、(宇根)、(谷崎)

須磨デイ: 三枝、島田 研修担当: 岡田 ( ): 異動または退職

ノーリフトケアコーディネーター(アドバンス)とノーリフトケア導入マネジメントコースについては、特養・須磨デイの導入・定着化計画の実施状況を基に参加時期等を検討します。

### ①-2 認知症ケア関連資格

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
特養	受講計画(実践者研修)	1	2	2	2
	累計	3	5	7	9
	受講計画(リーダー研修)	-	1	1	2
	累計	4	5	6	8

#### 2019年度受講済職員

実践者研修: (宇根)、荻野、竹内、(丸毛)、三田

リーダー研修: 原田、(宇根)、荻野、竹内、松垣 ( ):異動または退職

※増床エリアが満床になった場合(2021年度下期)、「リーダー研修修了者」が7名配置できていなければ、「認知症専門ケア加算(I)」は算定できない。

### ①-3 介護福祉士資格取得

受験資格を満たす時期を考慮して「実務者研修の受講」と「介護福祉士の受験」を促します。

### ①-4 主任ケアマネ

「主任介護支援専門員研修」の受講資格を満たした時点で、受講申請を行います。

### ①-5 喀痰吸引研修

対象入居者が一定数(2名程度※)に達した時点で計画を策定します。

※あいハート須磨で実地研修が可能になるため。

### ①-6 接遇関連研修

・特養とデイサービスの役職者は、接遇指導者研修を受講します。

・外部講師による施設内接遇研修を計画・実施します。

### ①-7 EPA介護福祉士候補生

日本語の習得状況や業務の自立度を勘案して、勤務時間内の自習時間を見直ししながら、候補生の活躍機会の拡大と介護福祉士の合格を目指します。

1年目(8月～7月): 1日2時間×週5日

2年目(8月～7月): 1日2時間×週2日(目標: 早出・日勤・遅出の自立)

3年目(8月～7月): 1日2時間×週2日(夜勤の自立)

※介護福祉実務者研修の受講

4年目(8月～1月): 1日2時間×週5日

### ①-8 キャリア段位制度

・4年間の取り組みにより、評価項目や指標に関する情報が収集できたため、レベル認定は一旦、終了とします。

・これまで収集した情報を新人事考課制度の検討と運用に活用します。

### ② ノーリフトケアの導入・定着化

※関連: 人材確保 ①腰痛予防対策の展開 ②現行施策の強化・改善

・「ノーリフトケアコーディネーター」研修の計画的受講及び部門内研修により、ノーリフトケアに関する「考え方」の定着を図ります。

・特養・須磨デイの導入・定着化計画を確実に実行します。

### ③ 部門別重点施策の推進

・各部門毎に「サービス向上」に関する重点施策を策定して、部門別中期計画として展開します。

・特養とデイサービスは、自立支援(機能訓練)成果の「見える化」※を推進します。

※「今後の制度改正に向けての準備」、「利用者獲得や採用力強化のためのツール」

(2) 防災・防犯対策

① 防災対策の充実

- ・地域住民の受入れ等に関する検討を行い、防災マニュアルに反映します。
- ・災害時の地域住民との連携について、検討を行います。

② 防犯対策の充実

- ・来所者の管理(把握)方法について、再検討します。

3. 安定的で継続性を持った経営

(社会的な要請への対応と法令遵守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。)

(1) 財務状況の健全化

① 特養

- ・増床計画を推進することで、財務状況の健全化を目指します。

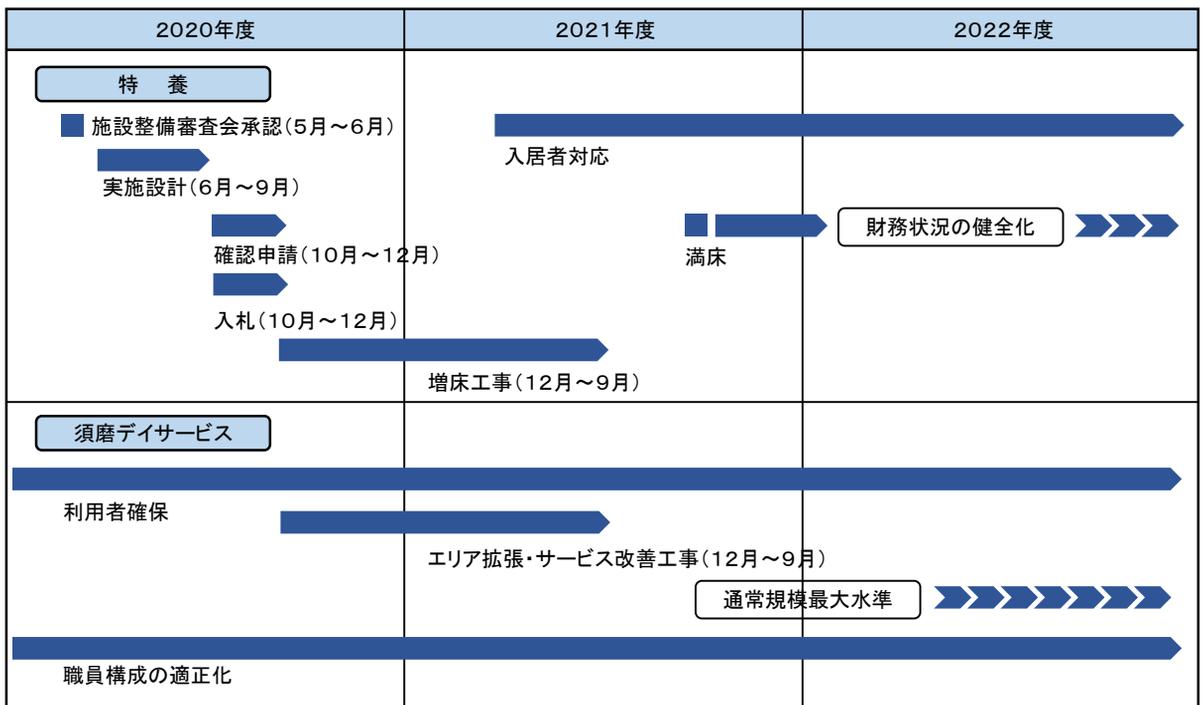
② 須磨デイサービス

②-1 通常規模最大化

- ・通常規模の最大利用人数(月間利用者数:875人※1 年間稼働率96.7%※2)を目指します。  
 ※1 通常規模は、「300人超750人以下」であるが、日曜日の営業しているため、「6/7」を乗じることができる。  
 ※2 これまでの稼働率管理の定員数(30名)を継承する。

②-2 職員構成の適正化

- ・雇用形態や労働時間から職種別の必要人員数を検討し適正な職員構成を目指します。



(2) 人材確保

① 腰痛予防対策の展開

- ・ノーリフトケアの導入・定着化による腰痛予防を推進することで、介護職員の離職防止と業務制限の最小化を目指します。

② 新人事考課制度の運用

- ・新人事考課制度の運用を開始して、課題等の検証と改善を実施します。

③新賃金制度の検討と運用

- ・賃金制度の見直しと現行制度からの移行を実施します。
- ・新人事考課制度に基づいた賃金改定を実施します。
- ・新制度の問題点等の検証と改善を実施します。

④夜勤業務の負担軽減策の推進

- ・体動センサなど、職員の負担を軽減するためのソリューションの導入を進めます。
- ・業務内容や業務フロー、職員配置等に関する見直しに着手します。

2020年度	2021年度	2022年度
<p>腰痛予防対策の展開</p> <p>ノーリフトケアに関する理解の共有</p> <p>腰痛予防リスクマネジメントの導入・継続</p> <p>優良(先行)事例の情報収集</p> <p>ノーリフトケア(リスク回避・低減策)の高度化</p>		
<p>新人事考課制度の運用</p> <p>新人事考課制度運用開始</p> <p>職員説明・評価者研修</p> <p>新人事考課制度運用(課題検証・改善)</p>		
<p>新賃金制度の検討と運用</p> <p>新賃金制度検討</p> <p>移行作業</p>	<p>新賃金制度運用(課題検証・改善)</p>	
<p>夜勤業務の負担軽減策</p> <p>ソリューション検討・決定</p>	<p>ソリューション導入</p>	<p>増床による夜勤体制の変更(3名⇒4名)</p> <p>業務内容・フロー等の見直し</p>

(3) 特養・ショート部門のマネジメント・運営体制の見直し

- ・2020年度に特養・ショート部門における部門長の統合(一元化)を実施します。
- ・部門長統合(一元化)に伴う影響を見ながら、マネジメントと運営体制に関する調整・見直しの要否を検討するとともに必要な対応を実行します。

(4) 新規事業

①脳梗塞リハ

- ・「脳梗塞リハビリフォーラム」の定期開催によるPTのNW構築と営業チャネルの確立を目指します。
- ・2020年度に単年度黒字、累積損失解消時期(2026年度)の前倒しを目指します。
- ・オプションメニューを検討し、収入規模の拡大を目指します。

②新規事業の検討

- ・「既存事業を安定運営するための収益確保」を目的として、平成30年度事業計画で整理した新規事業検討の視点(①地域ニーズ、②開業期間、③既存リソースの利活用、④複合効果)を基本に検討を開始します。

(5) 計画的な改修工事の実施

①増床工事に合わせて、以下の改修工事を実施します。

関連部門	内容
特養	2人部屋の多床室(4人部屋)化
	多床室のプライバシー保護の強化
	倉庫の新設(2階・3階)
	各居室と共用スペースの収納家具の更改
	3階ケアステーションの拡張
須磨デイ	事務スペースの移転(作業・日常動作訓練スペースの拡張)
	脱衣室の拡張(男女別に分割)
	3人浴槽の拡張(浴室内洗濯室の縮小)
共通	リフレッシュルームの新設(1階)
	駐輪・駐車スペースの拡張
	男子更衣室内のシャワールームの廃止(ロッカー設置スペースの拡張)

②計画的な設備更改を実施します。

2020年度	2021年度	2022年度	2023年(令和5年)度以降
緊急修繕	緊急修繕	緊急修繕	緊急修繕
過電流継電器	受電設備更改		介護保険業務支援システム※1
貯湯槽熱交コイル	ビル監視システム更改		NW環境※2
食器洗浄機			
スチームコンベクション			

※1 介護保険業務支援システム(ほのぼの)をオンプレミスからクラウドへの変更を検討する。

リース終了日:2023年9月30日

※2 ほのぼのの更改時にNW環境の見直しを行う。

(6) あいハート須磨ユニオンとの連携強化

①経営状況の共有

- ・事業計画や予算の内容と進捗状況について、定期的に情報共有を行います。
- ・介護保険制度や報酬等の動向について、必要に応じて情報共有を行います。

②労働環境の改善

- ・「長時間労働の是正」や「有給休暇の取得推進」に向けた目標を共有します。
- ・目標達成に向けた取組内容を検討・実行するとともに、進捗状況を共有します。

4. 地域交流の推進

(地域社会の活動拠点として、施設と利用者が地域社会の一員としての役割が果たせるよう取り組みます。)

(1) ボランティアの受入推進

ボランティア名簿の更新やボランティアとの意見交換を継続します。

(2) イベント等の実施

- ・夏祭りや仲良し交流会等、地域交流イベントを継続します。
- ・企業や学校からの研修・実習依頼の対応を継続します。
- ・あんしんすこやかセンターの業務を通じて、地域住民の来所機会の増加を目指します。

(3) 自治会支援

自治会行事の準備作業等の支援を継続します。

(4) 「地域における公益的な取組」の推進

①「地域サポート施設」としての事業内容の検討

- ・あんしんすこやかセンターの業務を通じて「地域サポート施設」としての事業内容を検討します。

②総合相談事業の立上げ

- ・須磨区社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット須磨)の活動に参画して、総合相談事業の展開に必要なルールの整備や広報活動に貢献します。
- ・居宅介護支援事業所とあんしんすこやかセンターの業務を通じて、相談実績の蓄積(目標:毎年各担当で1実績)を目指します。
- ・ほっとかへんネット須磨内で相談実績の共有を図ります。

2020年度	2021年度	2022年度
<p>・「地域サポート施設」としての事業内容の検討</p>		<p>・「地域サポート施設」事業の立上げ</p>
<p>・ルールの整備</p> <p>相談対応(実績の蓄積)</p> <p>■ 実績の共有</p>	<p>■ 実績の共有</p>	<p>■ 実績の共有</p>